



目次

6月定例会

神楽沢近隣公園2期整備工事始まる	P 2
民生委員・児童委員との意見交換会	P 3
賛否の分かれた議案、討論	P 4
村政を問う!〔一般質問〕	P 5~11
9月定例会日程(予定) / マイストーリー	P 12

6月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
ホームページでご覧
いただけます。

令和5年第2回定例会（6月議会）は、6月1日に開会し20日に閉会しました。9日から13日で休日を除く3日間、11人の議員が一般質問を行いました。

14日の一般会計予算決算委員会では、補正予算を審査しました。

20日の議案審議では、一般会計補正予算、公園整備をはじめ駐輪場の更新、公共施設改修等の工事請負契約の締結および人事案件などの村長提出議案14件全てを可決・同意しました。

また、発議第1号「安保関連3文書」の閣議決定の撤回を求める意見書については否決、請願第5-1号「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書は不採択としました。

中央土地
区画整理
地内

神楽沢近隣公園2期整備工事始まる



神楽沢近隣公園2期整備工事請負契約の締結に関する議案を全会一致で可決しました。2期工事では、大型滑り台を含む遊具、照明灯およびトイレ等が設置されます。開園は、令和6年度中を予定しています。

神楽沢近隣公園は、中央土地区画整理地内に地区のシンボルである神楽橋の下に広がる2.6haの大きな公園です。完成すれば「水と緑が溢れ自然、四季を感じられる憩いの場所」となることでしょう。

■契約金額 2億5千630万円



大型滑り台のある神楽沢近隣公園

東海消防署近く中央4号公園整備工事可決

中央4号公園整備工事請負契約の締結に関する議案を全会一致で可決しました。東海消防署近くに新しい公園が整備されます。中央4号公園には、ブランコや複合遊具を設置し令和6年3月完成予定です。主として街区内に居住する人たちの利用を目的とした「幼児からお年寄りまで幅広い年代が楽しめる」公園となります。

■契約金額 6千149万円



完成が待たれる中央4号公園

東海駅東口駐輪場更新工事を可決

—安全で利用しやすい屋根付き駐輪場をめざして—

東海駅東口駐輪場更新工事請負契約の締結に関する議案を全会一致で可決しました。

現在は、駐輪を想定していない歩道スペースへの駐輪が常態化しています。そのため本来の歩道は狭くなり、また歩行者と自転車の動線が重なってしまい、通行上危険な状態です。村では、村民すべてに優しく使いやすい駐輪場を目指して再整備することになりました。

工事期間は、8月から令和6年3月末までです。なお、工事期間中は現在の駐輪場が利用できないため、駅東第2公園の一部に仮設駐輪場が設けられます。

■契約金額 1億813万円



現在の東海駅東口駐輪場

文教厚生委員会

民生委員・児童委員との意見交換会

去る5月18日に文教厚生委員会は、村議会棟委員会室において民生委員・児童委員との意見交換会を実施しました。

民生委員・児童委員運営委員19名に参加していただき、①民生委員・児童委員の現状と課題、②民生委員・児童委員から見た地域の課題についての2つのテーマで意見交換を行いました。意見交換により、民生委員・児童委員の活動について理解を深めることができました。今後は、頂いた意見および課題を整理し、引き続き村議会として村政につなげるべく調査を進めてまいります。



グループごとの意見交換会

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい									光風会		公明党		結果			
	飛田 静幸	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	岡崎 悟		植木 伸寿	大名美恵子	村上 孝
請願第5-1号 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	×	×	×	議長	×	欠席	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	不採択
発議第1号 「安保関連3文書」の閣議決定の撤回を求める意見書について	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	否決

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

討論



討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

請願第5-1号

賛成

大名美恵子議員

請願者の最低生計費試算調査では労働時間月150時間として男性の時給1687円、女性は1674円に。物価水準は茨城と東京他府県も殆ど差がない。中小企業支援と共に最低賃金を全国一律にする必要性は明らか。

反対

公明党
岡崎 悟議員

一律最低賃金の引き上げは必要である。しかし、最低賃金時給1500円の実現には、日本経済の生産性の向上による大幅な成長が必須で、社会全体のバランスを見極め進める必要がある。現在その環境にない。

賛成

阿部功志議員

最低賃金の引き上げに反対する人は雇う側の立場にのみ立ち、雇われる側の立場に立とうとしない。請願は中小企業支援策の拡充もセットで出されているのに、そこを無視している。請願内容を理解しているのだろうか。

発議第1号

賛成

阿部功志議員

戦争は経済と生活への大打撃だ。敵対関係を小さくする外交努力を政府は放棄している。軍事力の肥大化で平和が保てるという発想は安易で思慮が浅い。危険な目に合わない立場の人ほど無責任に威勢のいいことを言う。

反対

新政とうかい
三上 修議員

日本は、隣国のミサイル発射や海洋進出によって、軍事的脅威に晒されている。国連が機能しない現状において、必要最小限度の設備導入は不可避。話し合いを続けつつも、適時課題に折り合いを付けてゆく必要がある。

賛成

村上 孝議員

安全保障のあり方、日本の役割は外交政策とありとあらゆる外交努力を通じて対応すべき。閣議決定のみで改正を図り、特化した軍事予算を国民に押し付けることは断じて許されない。戦争の歴史を繰り返さない。

賛成

光風会
恵利いつ議員

国防は国がやることだが、地方からも声を上げないと戦前と同じになりかねない。抑止力で平和は守れず国のあり方が根本から覆る。多くの戦争は自衛から始まった。日本がやるべきは軍拡ではなく、平和をつくる外交だ。

反対

新政とうかい
吉田充宏議員

我が国は戦後、最も厳しい安全保障環境に直面している。防衛力の増強や同盟国との協力関係強化が必要である。外交と防衛が両輪として機能することが重要だが、外交ありき、防衛ありきの問題提示は、無意味だ。

賛成

大名美恵子議員

反撃能力の保有は相手国がミサイル攻撃等の発射前の段階でも相手国が「攻撃に着手」したと見なして反撃できるものとする。実質的に国際法上も違法な先制攻撃の事態が想定され憲法第9条の下で絶対に許されない。

村政を問う!

一般質問

岡崎 悟 議員 P.6

- 1 チャット GPT 活用について
- 2 保育所等での紙おむつ定額利用サービスについて
- 3 **二軒茶屋原研線の街路灯の整備について**

江田 五六 議員 P.6

- 1 高度 AI 技術の行政での活用について
- 2 **AI 時代に生きる子どもたちに必要な学びについて**
- 3 **なぜやらない、学校給食費の無償化**

恵利 いつ 議員 P.7

- 1 **オーガニック給食を実現するための政策**
- 2 LGBTQ+多様な性を認め合える地域づくり
- 3 投票率低下を改善するため何ができるか

大内 則夫 議員 P.7

- 1 **街頭防犯カメラ(監視カメラ)の設置について**
- 2 **「選ばれる」まちづくりについて**
- 3 避難行動要支援者に対する個別の避難計画作成について

舛井 文夫 議員 P.8

- 1 バリアフリーの施策体系について
- 2 健康施策について
- 3 6号国道の拡幅及び水戸外環状道路について
- 4 農地中間管理機構について
- 5 **温暖化に対する村の環境対策について**

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

Q 東海村議会

検索



三上 修 議員 P.8

- 1 **村民切望の広域避難計画の公表時期は**
- 2 過去の一般質問はどのように検討したか
- 3 各種団体の本村活動評価
- 4 公共施設の喫煙所設置状況

笹嶋 士郎 議員 P.9

- 1 **保育所待機児童について**
- 2 村松北、村松宿などの狭隘道路解消について
- 3 文化団体振興について

大名 美恵子 議員 P.9

- 1 第9期高齢者福祉計画策定に向けて
- 2 **ウォーカブルなまちづくりの推進に関連して**
- 3 東海村環境整備事業協会との新たな協定締結に関連して
- 4 再稼働を目指す東海第二原発をめぐる諸課題について
- 5 避難行動要支援者「個別避難計画」作成について

植木 伸寿 議員 P.10

- 1 **地域包括ケアシステムなどの取組状況は**
- 2 脱炭素社会の構築に向けた進捗は
- 3 住民活動団体に対する安全確保の取組は

河野 健一 議員 P.10

- 1 役場正面入り口からもみじ通りまでの村道整備について
- 2 阿漕ヶ浦公園管理棟について
- 3 **広域避難計画の住民周知について**

阿部 功志 議員 P.11

- 1 原電に示した議論の項目素案は
- 2 **要支援者の自助努力に対する見解は**
- 3 **「避難弱者」の避難方法の対策は**
- 4 原子力災害における個別避難計画に対する取組は
- 5 願船寺周辺の道路発掘調査を

問 県道・二軒茶屋原研線の整備を

答 県と協議し安全性の向上を図る



公明党
おかざき さとる 議員

問 二軒茶屋原研線の街路灯や防犯灯の整備については、将来、県からの移管を受ける前に実施できないか。

答 二軒茶屋原研線は令和2年10月28日に締結した覚書により、水戸外環状道路の供用された区間の割合に応じて県から移管を受ける予定で、現在県は設計や境界確認を進めている。当該区間の道路照明については県は、主に信号機の設置された交差点や横断歩道に街路灯を設置して、安全な歩行環境を確保している。しかし、夜間には以前より歩道が暗い区

間が増えていることから、今後は歩行に支障がないように、歩行者用照明の設置について協議して、本村も歩道照明の設置可能な箇所などの調査を行い、二軒茶屋原研線の交通の安全性向上を図る。

問 県道の改善を求めるとは、どのような方法があるのか。

答 県道の改善を求めるとは、地元自治会から要望書を村へ提出いただき、その要望・意見を踏まえ、村が県へ要望したい。



県道を照らす街路灯

問 AI*時代に備えた学びとは

答 様々な経験や体験が必要と思う



光風会
えだ 江田 いくお 議員

問 昨今話題のチャットGPTなど高度な対話型AI技術の開発は、将来的には大手IT企業や中国などでも開発すると予想する。今の時代に生きる子どもたちは、高度AIに対応する新たなスキルアップが必要。AIに支配されるのではなく、主体的にAIと共存して人間らしく生きていくためには、基盤となる多くの経験・体験が重要だが、村の考えは。

答 身近な人や社会、自然と直接関わり、さま

ざまな経験や体験を通して、新たな気付きを得たり、それを基に考えたりすることは、児童生徒に「生きる力」を育む上で極めて重要である。今後とも体験活動の充実に努める。

問 学校給食費の無償化が必要

答 状況を見極め検討する

問 物価高騰や子育て支援の一環として、学校給食費の無償化に踏み切る必要がある。

答 今後、状況を見極めながら考える。



子どもたちには自然体験・経験が必要

*AI…Artificial Intelligence (人工知能) の略。

*オーガニック…有機栽培の農産物およびその加工食品のこと。

問 給食のオーガニック*化に後れるな

答 オーガニック給食の可能性を検討



光風会
恵利 かつ 議員

問 学校給食にオーガニック食材を取り入れる自治体が増えているが、全国的な動きをどう捉えているか。また、予防原則の観点から、オーガニック食材が提供できるまで心配なネオニコチノイド系農薬の使用を控えては。

答 このような動きは、使用される食材の安全性への意識の高まりの表れと認識している。今般丁A（農協）が有機栽培に取り組むと聞いている。減農薬に向かうと思われる。

問 ようやく地元JAも動き出すという思い。生産者が安心して慣行

栽培から有機栽培に移行できるような村の支援策が求められる。

答 有機農産物生産・消費体制の環境づくりや仕組みづくりを研究し情報発信していく。全国の先進事例を参考にし、これまでの村独自の支援制度を見直す。

問 全国的な学校給食のオーガニック化の流れに後れを取らないために、村長の強いリーダーシップが必要。

答 「全国オーガニック給食協議会」に参加を決めた。関係者の機運醸成から始める。



村内小学校の楽しい給食風景

問 街頭防犯カメラを設置すべき

答 主要道路と交差点に設置する



新政とうかい
おおうちのりお 大内 則夫 議員

問 街頭防犯カメラは犯罪の解決や抑止につながる。「真崎の未来を考える会」では通学路の安全点検をし、危険箇所を確認した。子どもたちや高齢者が安全で安心して暮らせるよう積極的に設置すべき。

答 現在、主要交差点や幹線道路沿いに15台設置。今年度は警察と連携しながら5台の増設を予定している。

問 選ばれるまちとしての事業展開は

答 強みを生かした施策を実施する

問 選ばれるまちにな

答 昨年度から、新婚世帯を対象に転入促進の補助をして一定の成果が出た。村の持つポテンシャル・強みを生かしてハード・ソフト両面から子育て支援や教育施設、基盤整備など未来を見据えた施策を展開して選ばれるまちを目指したい。

答 昨年度から、新婚世帯を対象に転入促進の補助をして一定の成果が出た。村の持つポテンシャル・強みを生かしてハード・ソフト両面から子育て支援や教育施設、基盤整備など未来を見据えた施策を展開して選ばれるまちを目指したい。



住宅やアパートが張り付き出した勝木田・下の内沿線

問 温暖化に対する 村の環境政策は

答 計画に基づき取組を進めていく



新政とうかい
ますい ふみお
舂井 文夫 議員

問 世界的規模で温暖化対策が進められているが、本村の対策について伺う。

答 本村では、世界各国の目標に歩調を合わせ、第3次東海村環境基本計画にて2050年の温室効果ガス排出量の実質ゼロを掲げている。役場自らが率先行動を実施しつつ、住民・事業者に対しても生活の身近なところから支援していく。

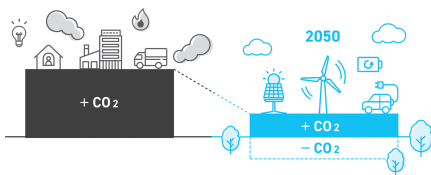
問 住民・事業者への後押しは必要。温暖化対策事業は実施しているが、今後の展開は。

答 環境基本計画などに基づき取り組みを進

めており、公共施設への再エネ導入拡大や、住民・事業者に対しては、省エネ家電・電気自動車の購入補助を開始した。実施状況を見極めながら、より効果的な事業展開を図る。

問 村だけではなく、すべての地域で考えていかなければならない。村の考えを伺う。

答 村としては、自治体としての役割を果たすため、一人ひとりが温暖化対策に関心を持ち、取り組みが促進されるよう、継続的に支援策を講じていく。



カーボンニュートラルとは
(出典：環境省 脱炭素ポータル)

問 住民切望の避難計画の 公表時期は

答 計画は概ね完成も公表時期は未定



新政とうかい
みかみ おさむ
三上 修 議員

問 本年1月に茨城県の地域防災計画が改定され、避難所1人当たりの面積が2㎡から3㎡以上に変更された。本村の状況はいかに。避難所1人当たり2㎡の計画は完成している」と理解するが、3㎡の避難計画はいつ公表できるのか。

答 避難所を確保する際の面積の目安が変更されたことを受け、新たな避難所として使用可能な公共施設や民間施設を照会中。避難所の件を除けば本村の広域避難計画は、概ね出来上がっているものと考えている。作業完了

の目標時期を明言することは難しい。

問 茨城県は新型コロナウイルス感染症のまん延もあって、避難所1人当たりの面積を見直したが、現在では感染症は対応方法も確立されている。原計画の2㎡で一旦完成とし、3㎡は努力義務とするよう茨城県に働きかけるべきと考えるが見解はいかに。

答 茨城県とはこれまでも協議を重ねてきたが、避難計画の策定に向けて引き続き連携していく。



避難所用の間仕切り (令和4年3月 那珂市総合公園内アリーナにて撮影)

問 小規模保育事業所の増設が必要

答 入所保留児童の解消を検討する

問 令和5年4月で待機児童は73人。村は若者に選ばれる政策を行ってきたはずが、若者が移住しても子どもを預ける保育所がない。そこで、待機児童の実態と今後の待機児童解消に向けた対策を伺う。

答 令和2年度に民間の小規模保育園と公立保育所が開設され、令和3年4月には待機児童が0人となったが、令和4年度になり入所申請児童が増加し、入所保留児童（自己都合による入所保留）も増加した。本年10月に3名の職員採用を予定しているなど、今後は民



新政とうかい
ささしま じろう 議員



駅西に設置されている小規模保育事業所

間事業者も含め、特に0歳児・1歳児の入所保留児童解消に向けた対策を検討する。

問 入所保留児童は、0歳児から2歳児までで54名74%を占めている。この状況を解消することが急務であり、小規模保育事業所の増設が必要である。村の考えを伺う。

答 保護者のニーズを分析した上で、官民一体となり、施設整備の必要性などあらゆる角度から入所保留児童の解消に向けた取り組みを検討する。

問 歩きたくなるまちづくりへの提案

答 庁内プロジェクトチームで検討

問 今年度から健康づくりや移動手段で「歩く」ことを推奨した歩きたくなるまちづくりが推進される。以前から「歩く」人の姿は数多く見られ、そもそも歩くことは村民の要求と見受ける。

答 ウオーカブルなまちづくりは、コンパクトで都市空間と自然環境が近接する本村の強みを生かし、歩ききっかけ、歩くことを日常化する仕掛け、歩きたくなる環境整備を展開しようとする施策。着目した点は、健康づくりやスポーツ推進計画策定に係る調査で、「現



おおな みえこ 議員



保健センターのすこやかウォーキングより

に行っている、またはこれから行いたいスポーツは？」の問いに、「ウォーキング」との回答が第1位だった点。また歩くことは「気軽に始めることができ、生活習慣病の改善や予防効果も認められている」などの点。

問 既に歩いている方々から「途中で休めるベンチや、色々なコースが楽しめるようにトイレがあれば」との声が届いている。

答 庁内プロジェクトチームで検討し、必要な整備を進める。

問 認知症の本人と家族を守る取組は

答 村独自のチームオレンジの検討を



公明党
うえき 植木 伸寿 議員

問 地域包括ケアシステムの目的は、高齢者の尊厳保持と自立生活の支援の下、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けること。認知症になると「何も分からなくなってしまう」など間違った認識が広がり、つらい思いをする本人や家族がいるが、どう守り支えるのか。

答 認知症の人に優しい地域づくりを推進するため、認知症地域支援推進員を主軸に認知症カフェなど、また普及事業として認知症サポーター養成講座などを開催している。



共生社会の実現に向けた認知症サポーター養成講座

より良く暮らせる共生社会の構築に向け準備の状況はどうか。

答 認知症の本人を中心に、本人同士が自らの体験や希望、必要とすることを話し合う場を本人ミーティング（きずなの会）として本人発信の思いを大切に取組んでいる。今後本人ミーティングなどを通じて、支援ニーズと認知症サポーターなど社会資源と結び、より安心して暮らせる取組みである村独自のチームオレンジの設置に向け検討をする。

問 住民への避難先周知に注力すべき

答 有効な周知方法を模索していく



新政とうかい
かわの けんいち 河野 健一 議員

問 今後、予定される東海村広域避難計画の住民説明は、UPZ圏内自治体の計画が公表された後に取りまとめられる「緊急時対応」が整理された段階において、国・県とともに避難行動の全体像を住民に説明すべき。また、計画の住民周知として重要なことは、原子力災害時の初動（避難先）を知っていただくことであると考え、新たな住民周知の仕組みを構築すべきと思うが考えを伺う。

答 過去の意見交換会で頂いたさまざまな意見の中には、広域避難

計画の規定事項には直接的に関係しないものや、国や県が整理するものも含まれていた。住民の不安や疑問に答える観点から、国や県も一堂に会した場で説明することは、より有効であると認識したところ。住民周知については、可能な限り多くの手段で行うことが重要との認識のもと、県が開発中の原子力災害に備えたスマホアプリの活用や個人情報を用いた業務アプリ等を用いた周知ツールの作成等も検討していく。



昨年10月の広域避難訓練での防災講習会の様子

問 避難行動要支援者登録の見直しを

答 介護認定度等で一律には扱わない

【問】 災害時に自力での避難が困難な避難行動要支援者。その数は、他市では数千人だが本村は90人と極端に少ない。原子力災害では高齢者や障がい者、乳幼児などの要配慮者（要支援者を含む）の多くが自助努力での避難は困難。名簿登録者の見直しをしては。

【答】 本村では介護の認定度などで一律に対象者とはせず、多方面からの情報で状況を把握して真に支援が必要な方を名簿登録している。民生委員や自治会に加えケアマネジャーなどの福

村内要配慮者数（令和5年5月1日現在）	
高齢者（65歳以上）	9617人
身体障がい者	961人（※28人）
知的障がい者	337人（※4人）
精神障がい者	280人（※3人）
乳幼児・未就学児童	1733人
児童・生徒	3307人
外国人	403人
数に重複あり ※印は名簿登録者数	
避難行動要支援者名簿登録者数	90人
（65歳以上で要介護3以上は19人）	

村内要配慮者数等との比較
（地域福祉課の資料から）

【問】 避難バスや福祉車両の必要台数は、協定締結はまだ

【答】 県は、県バス協会、県ハイヤー・タクシークomitee、県内社会福祉協議会が保有する車両数を把握中。協定締結には至っていない。



あべ こうし 議員

社専門職から情報をいただくとともに、不安を抱える本人からの相談を常時受けてとりこぼれのないよう努める。

【問】 避難バスや福祉車両の必要台数は

【答】 県バス協会等との協定締結はまだ

【問】 避難バスや福祉車両の必要数と現在準備できている台数は。

【答】 県は、県バス協会

東海村議会

取手市の被災者支援に寄付しました

令和5年6月2日に発生した台風2号により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。村議会では、取手市内の災害復旧事業・被災者支援事業等に活用していただくため、議会議員全員の総意により、令和5年7月4日（火）に支援金として10万円を取手市議会に寄付しました。

議員一同、被災地の早期の復旧、復興を心より願っております。



（左から）寺門定範議員、大内則夫議員、取手市議会 金澤克仁議長

表紙写真の紹介



シリーズ 未来へ

ふれあい福祉まつりが5年ぶりに開催されました。さまざまな団体の展示やふれあいコーナー、ステージ発表に加えて、キッチンカーの販売エリアも。絆館内が大勢の人でにぎわう中、盲導犬「ステラ」はいつも冷静沉着で人気者。触れ合う子どもたちのまなざしは優しかったです。

傍聴から はじめよう!

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は50名



9月 定例会日程(予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」でライブ配信中



期日	時間	内容
9月1日(金)	午前10時～	開会
9月11日(月)	午前10時～	一般質問
9月12日(火)	午前10時～	一般質問
9月13日(水)	午前10時～	一般質問
9月14日(木)	午前9時～	予算決算委員会

期日	時間	内容
9月15日(金)	午前9時～	予算決算委員会
9月19日(火)	午前9時～	予算決算委員会
9月21日(木)	午前10時～	予算決算委員会
9月26日(火)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

らじも、じいじとあそんでね。



茨城に寄港した大型クルーズ船

マイストーリー SNAPSHOT Vol.6

村内の風景や思い出などをご紹介します。たくさんのご応募ありがとうございました。



母のサロン、楽しかったよ!



福祉まつり、友達と遊びました。



初めての運動会
頑張って最後まで完走しました

みなさんの「四季の思い出」写真を募集します。

〈応募方法〉メールまたは郵送でご応募ください。

〈郵送先〉〒319-1192 那珂郡東海村東海3-7-1 東海村役場議会事務局

〈応募条件〉村内在住・在勤の方 〈必要事項〉①写真 ②応募用紙(議会ホームページからダウンロードできます。)

〈メール先〉gikaijimu@vill.tokai.ibaraki.jp 〈募集期間〉令和5年9月28日まで

